

資料

1 期間内目標値

☆・・・「三郷市母子保健計画」から引用

基本目標 1 子どもの権利や安全の確保

(1) 子どもの権利と主体性の尊重

① 子どもの権利の尊重

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	各年度目標				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
人権セミナー	5回開催	継続して実施	講座内容の創意工夫を図り、継続して実施				
学校人権教育	全小・中学校において人権作文・人権メッセージの作成	継続して同様に実施	事業の充実を図る				

(2) 子どもの安全の確保

① 虐待防止対策の強化

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
家庭児童相談室	相談件数 1,450 件	相談の件数 1,500～1,600 件	相談が複数回にわたることや 1 件あたりの相談時間が長いいため、件数値を指標にせず、各年度 1,500～1,600 件とする。				
地域における見守り体制の確立（広報・啓発活動の充実）	広報誌、HP への掲載、児童虐待防止月間での横断幕設置やららほっとみさと内での展示、チラシ・リーフレットの配布、ポスターの掲示など。	継続して同様に実施。	継続して同様に実施。				
地域における見守り体制の確保（通報システムの確立）	民生委員・児童委員等の会議の中等で、児童虐待の講習等を行う。	継続して同様に実施。	より充実できるよう、他の機会も検討する。				
要保護児童対策地域協議会	代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を通じ、情報共有と協調できる体制を整えている。	継続して同様に実施。	子ども家庭総合支援拠点を設置することとなったため、子育て支援ステーション等関係機関との連携の強化を図り、児童虐待防止に向けた取り組みを実施していく。				
要援護児童の施設入所及び相談業務	相談 1 件、入所 1 件。	相談しやすい体制づくりを整える。	相談しやすい体制づくりを整える。				
健康診査未受診状況調査（お元氣ですか訪問）	居住実態を把握できた乳幼児の割合 100%☆	100%☆	保健師等による未受診者訪問を実施し居住等の有無や児の様子、健診に来訪されなかった背景等を確認する。 訪問で会えなかったり、返信ハガキの回答が無かった場合は、フローチャートをもとに、地区担当保健師へ引き継ぎ、居住実態不明児の早期把握に努める。				
未就園児等全戸訪問事業	未実施	居住実態を把握できた児童の割合 100%	新規事業のため、庁内関係各課と連携を図り、健診未受診者や不登校児童で連絡がとれない家庭の訪問を行っていく。				

② いじめからの保護

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
教育相談	市内3カ所の教育相談室における相談延べ件数 4,236 件	継続して同様に実施	事業の充実を図る				

③ 交通被害からの保護

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
道路照明灯設置	新設数：26	継続して同様に実施	照明灯LED化のさらなる推進を図る。				
交通安全施設	グリーンベルト：28.2㎡ 中央・外側線：9,723㎡	継続して同様に実施	交通事故現場や町会・自治会等の要望を精査したうえで実施する。				
通学時の交通安全指導	立哨指導箇所：32カ所 交通指導員数：32名	継続して同様に実施	学校からの要望、交通環境等の変化により適切配置を検討し実施する。				

資料

交通安全こども自転車乗り大会	開催回数：１回 市内参加小学校数：１９校 参加者数：９５名 参加校率：１００％	継続して同様に実施	交通安全意識、安全運転技術向上のため事業の充実を図る。
交通安全教育	実施回数 小学校：２７回 ５,７５１名 幼稚園：７回 ９２０名	継続して同様に実施	実施体制を検討し、安全教室の充実を図る。

④ 犯罪被害からの保護

事業名	現状値（３０年度）	指標/目標	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
防犯のまちづくりの推進	自主防犯活動団体数 １１６ 防犯ステーション数 ５ 青色防犯パトロール車数 ８４	自主防犯活動団体数 １２７ 防犯ステーション数 ６ 青色防犯パトロール車数 １００	活動団体数、ステーション数、パトロール車数の増加を図る。				
子ども１１０番の家	設置数 ９９４件	設置数１,０００件	設置数の増加を図る。				
子ども見守り活動	見守りボランティア協力者数 １７,７０８人	現状維持に努める。	現在のボランティア協力者に引き続き活動をお願いしていく。				

（３）子どもの生活環境の整備

① 安全なまちづくりの推進

事業名	現状値（３０年度）	指標/目標	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
水路改修事業	９６０ｍ	１.５ ｋｍ	０.３ ｋｍ	０.３ ｋｍ	０.３ ｋｍ	０.３ ｋｍ	０.３ ｋｍ
歩道整備事業	１５７.６ｍ	０.５ ｋｍ	０.１ ｋｍ	０.１ ｋｍ	０.１ ｋｍ	０.１ ｋｍ	０.１ ｋｍ

基本目標２ 子どもの社会的成長の促進

（１）子どもの健全な成長

① 青少年健全育成

事業名	現状値（３０年度）	指標/目標	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
青少年問題協議会	年２回実施 委員数１４人	継続して同様に実施	年２回の開催を継続し、事業の充実を図る。				
青少年の非行・被害防止全国強調月間啓発事業（７月）	年１回実施	継続して同様に実施	年１回の開催を継続し、事業の充実を図る。				
子供・若者育成支援強調月間啓発事業（１１月）	年１回実施	継続して同様に実施	年１回の開催を継続し、事業の充実を図る。				
親の学習推進事業	ファシリテーター数２７人 サポーター数 １６人	ファシリテーター数２９人 サポーター数 １８人	講座内容の充実と、新規ファシリテーターおよびサポーターの育成を図る。				

② 子どもの情報環境の整備

事業名	現状値（３０年度）	指標/目標	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
情報モラル教育の推進	〔指導課〕児童生徒や保護者に対し、携帯電話やスマートフォンなどの正しい使用方法等について啓発活動や指導を実施	継続して同様に実施	事業の充実を図る				
	〔青少年課〕 啓発活動 １回 代表者会議 ２回	年１回を基本に実態に即して実施	児童・生徒の情報機器利用の実態を把握し、実態に応じた教育を推進する。				

（２）子どもの交流機会の確保

① 青少年団体活動支援

事業名	現状値（３０年度）	指標/目標	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
青少年教育事業	各事業参加者合計 ２３２人	継続して同様に実施	プログラムの見直しを適宜図り、事業を充実させながら、参加者のステップアップを図る。				

子ども会育成者研修会	年1回実施 参加者29人	継続して同様に実施	引き続き研修会を開催し、子ども会活動の安全な運営を促す。
------------	-----------------	-----------	------------------------------

② 地域活動の推進

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
青少年関係団体補助事業等	6団体に補助金を交付	実態に即して実施	青少年の健全育成を行う団体に補助を行う。				

(3) 「子どもの居場所」づくりの整備・推進

① 「子どもの居場所」づくりの整備・推進

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
放課後児童クラブ運営の充実	児童クラブで延べ利用 児童数 11,437人	待機児童の解消	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				
放課後子ども教室推進事業	4か所 登録人数：160名	継続して実施	小学校内（2校）への新設を目指す。				
児童館（育児情報の提供・交流）	北児童館・南児童センター・ 早稲田児童センターで通年 実施	継続して実施	児童厚生員による子育てサポート、育児に関する情報提供等を行う。				
就学支援委員会	全小・中学校で校内就学相談 委員会を実施 市就学支援委員会を年6回 実施	継続して同様に実施	校内就学支援委員会や関係期間との連携強化				
障がい児への支援（障害福祉サービス給付事業）	（児童発達支援） 実人数：100人 （放課後等デイサービス） 実人数：250人	適切な対応を推進する	継続して取り組む				
赤ちゃんひろば（北公民館・北児童館共催事業）	開催回数：18回 参加者数延べ485人	継続して実施	保護者の仲間づくりや子育てのアドバイスの発信等につながるよう内容の充実を図る。				
図書館における日本一の読書のまち三郷の推進	図書館・図書室の児童書貸出 333,704冊 図書館間連絡車巡回 178回	継続して同様に実施	継続して同様に実施				
親子対象事業	[北児童館] 164回 開催 延 1,928人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[南児童センター] 240回 開催 延 6,076人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[早稲田児童センター] 726回 開催 延 9,307人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[東和東地区文化センター] 子育てママのリフレッシュ 体操：38人 親子体操：44人 つどいの広場「子育て支援事業」延べ 6,848人 みんな☆おいでよ： 延べ91人 お話し広場延べ 3,630人	継続して同様に実施	回数を確保しつつ、事業内容を見直す。 参加者数については現状維持を確保				

	[彦成地区文化センター] ① 親子料理教室 延べ 18 人 ② にこにこひろば 延べ 329 人 ③ えほんのひろば 延べ 124 人 ④ 親子リズム遊び 延べ 68 人 ⑤つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 499 人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。 親子のふれあいの場となる事業の実施に努める。
	[高州地区文化センター] つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 667 人	継続して同様に実施	親子が触れ合うことができる事業の実施に努める。 子育て支援事業は、つどいの広場開催時に実施していく。 参加者数は現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] ファミリーコンサート 開催回数：1 回 参加人数：184 人 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ 76 組 みんなおいでよ 開催回数：2 回 参加人数：72 人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施
	[ピアラシティ交流センター] ボタジェ体験 開催回数 11 回 参加組数 200 組	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[三郷中央におどりプラザ] 令和元年度に実施 親子体験WS等 開催回数 概ね 8 回 参加組数 概ね 200 名	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[市立図書館] 親子おはなし会 開催回数: 22 回 参加人数: 延べ 528 人	継続して実施	継続して同様に実施
	[早稲田図書館] 親子おはなし会 開催回数: 12 回 参加人数: 延べ 119 人	継続して同様に実施	継続して同様に実施
	[北部図書館] ちいさいえほんタイム 開催回数: 12 回 参加人数: 延べ 206 人	継続して同様に実施	継続して同様に実施
幼児・児童対象事業（乳幼児から小学生）	[北児童館] 575 回 開催 延 971 人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 9 回 開催 延 90 人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施

	[早稲田児童センター] 405 回 開催 延 968 人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] ぬりえ大会：延べ 437 人 キッズ体操：2クラス 延べ 1,440 人 英語リトミック教室： 2 クラス 延べ 633 人	継続して同様に実施	定着している事業であり、前年同様に継続する。 また、参加者数については、現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ① ぬりえ・クイズ大会 延べ 1,464 人 ② kids 体操クラブ 延べ 775 人	継続して同様に実施。	内容を検討し、継続して実施
	[高州地区文化センター] ぬりえ大会 延べ 1,191 人 Kids 体操クラブ 4 クラス 延べ 2,914 人	継続して同様に実施	近隣の幼稚園、小学校等の児童数を把握し、広報活動を強化し、現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ 232 人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施
	[ピアラシティ交流センター] キッズの英語体験 開催回数 8 回 参加組数 57 人 キッズのジャズダンス体験 開催回数 12 回 参加組数 299 人	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[市立図書館] わくわくラボ他 開催回数：延べ 12 回 参加者数：延べ 762 人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
	[早稲田図書館] たからじまクラブ他 開催回数：延べ 12 回 参加者数：延べ 215 人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
	[北部図書館] ほくほくタイム他 開催回数：延べ 12 回 参加者数：延べ 221 人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
児童対象事業 (小学生) ブックトーク	市内全小学校 3 年生対象 19 校 37 学級 1,147 人実施	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
児童対象事業 (小学生)	[北児童館] 115 回 開催 延 773 人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 1,377 回 開催 延 3,521 人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施

	[早稲田児童センター] 519回 開催 延 2,978人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] みさとの大将：延べ67人 東和スイーツクラブ：延べ30人 キッズチアリーディング：延べ28人	継続して同様に実施	回数を確保しつつ、事業内容を見直し開催する。 また、参加者数については現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ① ちびっこクッキング 延べ 55人 ② ちびっこ工作 延べ 38人 ③ D I Yこども工作教室 延べ 23人 ④ 子ども科学教室 延べ 17人 ⑤ 絵本クッキング 延べ 10人 ⑥ みさとの大将 延べ 275人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。 子どもが楽しく参加できる事業の充実を図る。
	[高州地区文化センター] Kids 工作・kids 料理・みさとの大将 延べ394人	継続して同様に実施	近隣の小学校へPRを強化し、学校行事予定を把握しながら、そえに合わせた事業を実施していく。 延べ人数については現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ552人 みさとチャイルドチャレンジ 開催回数：1回 参加人数：280人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施
	[ピアラシティ交流センター] キッズのお菓子パン教室 開催回数 4回 参加組数 96人	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
その他一般事業	[北児童館] 20回 開催 延 700人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 540回 開催 延 3,593人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 195回 開催 延 2,949人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] ECO イベント：延べ914人 東和キッズまつり：2,400人 夏休みゲーム大会：280人 リフティング・パフォーマン スショー：205人 子育てフェスタ：598人 ハロウィンイベント：425人 東和食堂：延べ1,188人	継続して同様に実施し（一部イベントを統合して開催）	定着している事業であり、前年同様に継続する。 また、参加者数については、現状維持を確保

	[彦成地区文化センター] ① スポーツ交流会 延べ 40 人 ② 彦ブンフェスタ 延べ 2,114 人 ③ 観劇会 延べ 48 人 ④ 子ども映画会 延べ 264 人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。ファミリーで参加できる体験型イベントとして企画していく。
	[高州地区文化センター] 高州MOVIE 延べ 333 人 子ども夏まつり 延べ 3,374 人 けん玉ショー 延べ 252 人 子ども作品展 延べ 383 人	継続して同様に実施	参加者数については、現状維持を確保。
	[ピアラシティ交流センター] ピアラシティ交流センター フェスタ 開催回数 1 回 参加人数 1,022 人 (体験イベント参加者数)	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[北部図書館] 星空観望会 開催回数:8回(中止4回) 参加人数:151人(申込人数298人)	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
子どもの学習支援事業	参加者 中学生13名 高校生5名	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
おもしろ遊学館事業	教育課程にとらわれない講座を休業日等に実施	継続して同様に実施	事業の充実を図る
「子どもの居場所」づくりセミナー	未実施	新規で実施	講演会や交流会等を柱として実施
「子どもの居場所」づくりの情報発信	①活用媒体数 1つ(ホームページ)	①活用媒体数 6つ以上	「子どもの居場所」マップや各種支援制度、助成金などの情報を運営者向けページと利用者向けページなどに分け、ホームページに掲載する。 また、必要に応じて、メール配信サービスやポケットみさと、フェイスブック、ツイッター、チラシ掲示などを活用し、情報発信を行う。
「子どもの居場所」づくりの相談体制の整備	現時点で把握している情報を提供	三郷市社会福祉協議会や庁内各課と連携し、相談者に幅広い情報提供を行う。	三郷市社会福祉協議会と連携し、窓口対応にあたる。「相談票」を活用して庁内各課と連携し、相談者へ情報提供する。

② 公園などの整備

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
身近な公園、広場の整備	一人あたりの公園等面積 7.17 m ² /人	目標年度(2年度) 7.5 m ² /人	地域的なバランスを考慮した配置と地域の特性を踏まえた整備に努める。				

公園施設の維持管理	年/1回、遊具の定期点検を実施 遊具等の修繕の実施 樹木の剪定及び病害虫駆除（消毒）の実施	継続して同様に実施	継続して同様に実施
公園施設のバリアフリー化	公園施設のバリアフリー化 44箇所	既存施設のバリアフリー化、新規施設へのユニバーサルデザインの導入	既存施設のバリアフリー化、新規施設へのユニバーサルデザインの導入

(4) 多様な体験機会の確保

① 多様な体験機会の提供

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
幼児・児童対象事業（乳幼児から小学生） （再掲）	[北児童館] 575回 開催 延971人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[南児童センター] 9回 開催 延90人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[早稲田児童センター] 405回 開催 延968人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[東和東地区文化センター] ぬりえ大会：延べ437人 キッズ体操：2クラス 延べ1,440人 英語リトミック教室： 2クラス 延べ633人	継続して同様に実施	定着している事業であり、前年同様に継続する。 また、参加者数については、現状維持を確保				
	[彦成地区文化センター] ③ ぬりえ・クイズ大会 延べ1,464人 ④ kids体操クラブ 延べ775人	継続して同様に実施。	内容を検討し、継続して実施				
	[高州地区文化センター] ぬりえ大会 延べ1,191人 Kids体操クラブ4クラス 延べ2,914人	継続して同様に実施	近隣の幼稚園、小学校等の児童数を把握し、広報活動を強化し、現状維持を確保。				
	[鷹野文化センター] 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ232人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施				
	[ピアラシティ交流センター] キッズの英語体験 開催回数 8回 参加組数 57人 キッズのジャズダンス体験 開催回数 12回 参加組数 299人	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保				
	[市立図書館] わくわくらボ他 開催回数:延べ12回 参加者数:延べ762人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る				

	[早稲田図書館] たからじまクラブ他 開催回数:延べ 12回 参加者数:延べ 215人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
	[北部図書館] ほくほくタイム他 開催回数:延べ12回 参加者数:延べ 221人	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
図書館における日本一の読書のまち三郷の推進 (再掲)	図書館・図書室の児童書貸出 333,704冊 図書館間連絡車巡回 178回	継続して同様に実施	継続して同様に実施
日本一の読書のまち三郷推進計画の改定	年4回の協議会を開催した	継続して同様に実施	継続して同様に実施
児童対象事業 (小学生) (再掲)	[北児童館] 115回 開催 延773人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 1,377回 開催 延3,521人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 519回 開催 延2,978人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] みさとの大将:延べ67人 東和スイーツクラブ:延べ30人 キッズチアリーディング:延べ28人	継続して同様に実施	回数を確保しつつ、事業内容を見直し開催する。 また、参加者数については現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ⑦ ちびっこクッキング 延べ 55人 ⑧ ちびっこ工作 延べ 38人 ⑨ D I Yこども工作教室 延べ 23人 ⑩ 子ども科学教室 延べ 17人 ⑪ 絵本クッキング 延べ 10人 ⑫ みさとの大将 延べ 275人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。 子どもが楽しく参加できる事業の充実を図る。
	[高州地区文化センター] Kids 工作・kids 料理・みさとの大将 延べ394人	継続して同様に実施	近隣の小学校へPRを強化し、学校行事予定を把握しながら、そえに合わせた事業を実施していく。 延べ人数については現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数:延べ552人 みさとチャイルドチャレンジ 開催回数:1回 参加人数:280人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施

	[ピアラシティ交流センター] キッズのお菓子パン教室 開催回数 4回 参加組数 96人	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
ふれあい交流事業	みんなであそぼう 参加者 176人	継続して事業を実施	今後も継続して青少年団体への業務委託を行うことで、団体の活性化及び青少年の健全育成を推進する。
親子対象事業 (再掲)	[北児童館] 164回 開催 延 1,928人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 240回 開催 延 6,076人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 726回 開催 延 9,307人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] 子育てママのリフレッシュ 体操：38人 親子体操：44人 つどいの広場「子育て支援事業」延べ 6,848人 みんな☆おいでよ： 延べ91人 お話し広場延べ 3,630人	継続して同様に実施	回数を確保しつつ、事業内容を見直す。 参加者数については現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ⑤ 親子料理教室 延べ 18人 ⑥ にこにこひろば 延べ 329人 ⑦ えほんのひろば 延べ 124人 ⑧ 親子リズム遊び 延べ 68人 ⑤つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 499人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。 親子のふれあいの場となる事業の実施に努める。
	[高州地区文化センター] つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 667人	継続して同様に実施	親子が触れ合うことができる事業の実施に努める。 子育て支援事業は、つどいの広場開催時に実施していく。 参加者数は現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] ファミリーコンサート 開催回数：1回 参加人数：184人 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ76組 みんなおいでよ 開催回数：2回 参加人数：72人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施

	[ピアラシティ交流センター] ボタジェ体験 開催回数 11回 参加組数 200組	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[三郷中央におどりプラザ] 令和元年度に実施 親子体験WS等 開催回数 概ね8回 参加組数 概ね200名	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[市立図書館] 親子おはなし会 開催回数: 22回 参加人数:延べ 528人	継続して実施	継続して同様に実施
	[早稲田図書館] 親子おはなし会 開催回数: 12回 参加人数:延べ 119人	継続して同様に実施	継続して同様に実施
	[北部図書館] ちいさいこえほんタイム 開催回数: 12回 参加人数:延べ206人	継続して同様に実施	継続して同様に実施
その他一般事業 (再掲)	[北児童館] 20回 開催 延 700人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 540回 開催 延 3,593人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 195回 開催 延 2,949人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] ECO イベント:延べ,914人 東和キッズまつり:2,400人 夏休みゲーム大会:280人 リフティング・パフォーマンスショー:205人 子育てフェスタ:598人 ハロウィンイベント:425人 東和食堂:延べ1,188人	継続して同様に実施継続し (一部イベントを統合して開催)	定着している事業であり、前年同様に継続する。 また、参加者数については、現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ⑤ スポーツ交流会 延べ 40人 ⑥ 彦ブンフェスタ 延べ 2,114人 ⑦ 観劇会 延べ 48人 ⑧ 子ども映画会 延べ 264人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。ファミリーで参加できる体験型イベントとして企画していく。

	[高州地区文化センター] 高州MOVIE 延べ 333 人 子ども夏まつり 延べ 3,374 人 けん玉ショー 延べ 252 人 子ども作品展 延べ 383 人	継続して同様に実施	参加者数については、現状維持を確保。
	[ピアラシティ交流センター] ピアラシティ交流センター フェスタ 開催回数 1 回 参加人数 1,022 人 (体験イベント参加者数)	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[北部図書館] 星空観望会 開催回数:8回(中止4回) 参加人数:151人(申込人数 298人)	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る
子どもフォーラム	[青少年課] 年 1 回実施	継続して同様に実施	年 1 回の開催を継続し、事業の充実を図る。
	[指導課] 発表校 1 校	継続して同様に実施	事業の充実と積極的な広報活動
中学生社会体験チャレンジ事業	全中学校で実施	継続して同様に実施	協力事業所との連携
巡回軽スポーツ事業	市内 5 地区合計 269 名	参加者の増加	参加者については現状値よりも増加を目指す。
障がい者スポーツ・レクリエーション交流会	総合体育館大規模修繕により中止	参加者の増加	参加者については現状値よりも増加を目指す。
総合体育館事業	実施事業:37事業	事業数の増加	現状を維持しながら事業数の増加を目指す。 40 事業
補助金交付団体の主催事業(スポーツ少年団等)	合計金額 9,908,000 円	継続実施	現状維持

② 情報提供体制の整備

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
児童館だより	[北児童館] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[南児童センター] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[早稲田児童センター] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
たからじまだより	年6回、1回につき700部発行	継続して同様に実施	一部カラーを配布し、見やすさなど質の向上と共に内容の充実を図る				
「子どもの居場所」づくりの情報発信(再掲)	①活用媒体数 1つ(ホームページ)	①活用媒体数 6つ以上	「子どもの居場所」マップや各種支援制度、助成金などの情報を運営者向けページと利用者向けページなどに分け、ホームページに掲載する。 また、必要に応じて、メール配信サービスやポケットみさと、フェイスブック、ツイッター、チラシ掲示などを活用し、情報発信を行う。				

基本目標3 子どもの教育環境の充実

(1) 家庭教育の充実

① 多様な学習機会の提供

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
親子対象事業 (再掲)	[市立図書館] 親子おはなし会 開催回数: 22回 参加人数: 延べ 528人	継続して実施	継続して同様に実施				
	[早稲田図書館] 親子おはなし会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ 119人	継続して同様に実施	継続して同様に実施				
	[北部図書館] ちいさいこえほんタイム 開催回数: 12回 参加人数: 延べ206人	継続して同様に実施	継続して同様に実施				
親子環境教室	8/21実施 参加者 大人7人/小人15人	継続実施	現状維持				
親の学習推進 事業 (再掲)	ファシリテーター数27人 サポーター数 16人	ファシリテーター数29人 サポーター数 18人	講座内容の充実と、新規ファシリテーターおよびサポーターの育成を図る。				

(2) 幼児教育の充実

① 幼稚園教育の推進

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
私立幼稚園への 補助金交付 事業	私立幼稚園運営費補助金 市内9幼稚園 三郷市私立幼稚園協会補助 金	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				

② 幼児教育の推進

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
保育所・幼稚園・認定こども園・小学校との連携	幼稚園協会との連携会議の開催	子育て支援ネットワークの形成	関係機関との連携を強化していく。				
幼児教室運営 管理・補助事業 (幼児教室 風の子園)	園児数: 48人 通年での開園	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。	認定こども園等への移行や運営に対する支援のあり方等を検討する。				

(3) 学校教育の充実

① 学校教育の推進

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
特色ある学校 づくり事業	全小・中学校が学校公開を年 2回実施	継続して同様に実施	参観者数増加に向けた広報活動				
学力向上推進 事業	学力向上に向けた推進委員 会の実施(国語、数学、外国 語等) 研究委嘱校の決定	継続して同様に実施	状況を踏まえた適切な対応				
幼小・保小・ 小中・中高連 絡会	教職員合同研修会や連絡会 の実施	継続して同様に実施	情報の共有化を図る				
体力向上研究 推進事業	体力向上推進委員会の実施 研究委嘱校の決定	継続して同様に実施	状況を踏まえた適切な対応				

資料

保育所・幼稚園・認定こども園・小学校との連携（再掲）	幼稚園協会との連携会議の開催	子育て支援ネットワークの形成	関係機関との連携を強化していく。
環境教育出前講座	3小学校で実施 参加者253名	小学校との調整を図りより多くの小学校で出前講座を行い参加者の増加を目指す	毎年5校程度での実施を目指す

② 特別支援教育の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
就学支援委員会（再掲）	全小・中学校で校内就学相談委員会を実施 市就学支援委員会を年6回実施	継続して同様に実施	校内就学支援委員会や関係期間との連携強化				

③ 教育相談の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
教育相談（再掲）	市内3カ所の教育相談室における相談延べ件数4236件	継続して同様に実施	事業の充実を図る				

④ 経済的負担の軽減

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
交通遺児奨学金支給事業	支給人数 小学校3名、中学校1名 9月、1月、3月に支給	継続して同様に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
特別支援教育就学奨励費補助金事業	支給人数 小学生103名 中学生 37名	継続して同様に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業（学用品費等）	支給人数 準要保護887名 要保護 31名	継続して同様に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
準要保護児童生徒就学援助（学校給食費）	支給人数 準要保護878名	継続して同様に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				

(4) 読書による教育環境の充実・推進

① 読書による教育環境の充実・推進

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
親子対象事業（再掲）	[市立図書館] 親子おはなし会 開催回数: 22回 参加人数: 延べ 528人	継続して実施	継続して同様に実施				
	[早稲田図書館] 親子おはなし会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ 119人	継続して同様に実施	継続して同様に実施				
	[北部図書館] ちいさいこえほんタイム 開催回数: 12回 参加人数: 延べ206人	継続して同様に実施	継続して同様に実施				
ブックスタート事業	4か月児健診の受診親子へ 絵本配布数 1,164冊	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る。				
らんどせるブックよもよも事業	市内在住の小学1年生（市外の小学校へ通学する児童も含む）へ配布 実施人数 1,176冊	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る。				

学校における 「日本一の読書のまち三郷」の推進	〔指導課〕 全小・中学校において学校読書活動推進計画の作成 全国家読うびんコンクールの実施	継続して同様に実施	状況を踏まえた適切な対応
	〔学務課〕 全27校に専任の学校図書館司書を週2回配置	継続して同様に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。
児童対象事業 (小学生)ブックトーク (再掲)	市内全小学校3年生対象 19校 37学級 1,147人実施	継続して同様に実施	質の向上を目指し事業の充実を図る

基本目標4 安心して出産できる支援体制づくりと親子に対する健康施策の充実

(1) 母子保健医療体制の整備充実

① 妊婦等に対する相談・支援の充実

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
妊婦健康診査事業	妊婦健康診査の費用助成 14回	現状維持	マイナンバー制度による健診結果の利活用を図るための体制整備を検討する。				
利用者支援事業(子育て支援ステーション事業)	○妊婦面談実施割合 36.2% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 93.0% ○全出生数に占める低出生体重児の割合(2,500g未満) 9.9%(最新平成29年度) ○周産期死亡率 6.1(人口千対)(最新平成29年度) ○妊娠11週以下での妊娠の届出率 92.6% ○相談件数 1,104件	○妊婦面談実施割合:100% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 100% ○低出生体重児の割合:減少 ○周産期死亡率:減少 ○妊娠11週以下での妊娠の届出率:増加	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指し、妊娠届出時等の機会を活用し、妊婦全員に面談を行うなど、支援を必要とするかたへの相談体制の充実を図る。 妊娠・出産・育児の総合相談窓口として、相談内容に応じた適切な部署等へつなぐとともに、産科医療機関等の関係機関との連携を強化していく。				
助産施設入所相談	相談件数 11件 入所件数 3件 広報・HP等で周知	子育て支援ステーション等関係各課と連携しながら支援が必要とされる方が確実に利用できるようにする。	引き続き事業を継続していく。				

② 乳幼児の疾病・医療体制の確保

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳幼児の予防接種	①BCG:(1歳未満)接種割合 100.8%☆ ②四種混合:1歳6か月までの接種割合(1期初回3回の終了) 100.7%☆ ③麻疹・風疹:1歳6か月までの接種割合 95.2%☆	①現状維持☆ ②現状維持☆ ③現状維持☆	①乳幼児健康診査時に接種状況確認や未接種者へ接種勧奨②広報やホームページでの周知③未接種者への個別勧奨通知(麻しん風しん混合ワクチン2期、日本脳炎2期)④教育委員会をとおして市内小中学校の児童・生徒への接種勧奨チラシの配付、などを行い接種者数の増加を目指す。引き続き、早期接種の周知、未接種者への勧奨を行う。 また、予防接種の種類が増加しているため、接種誤り等がないよう予防接種自動スケジューラーの周知を徹底していく。				
小児救急医療対策	小児救急医療支援事業:365日/当番日数 小児時間外診療(初期救急):542人	小児救急医療支援事業:365日/当番日数	小児救急医療支援事業は、東部南地区の担当病院及び6市1町と連携しながら、365日の輪番体制(1日当たり1病院)を維持していく。				

③ 親子の孤立防止

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者支援事業（子育て支援ステーション事業）（再掲）	○妊婦面談実施割合 36.2% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 93.0% ○全出生数に占める低出生体重児の割合（2,500g未満）9.9%（最新平成29年度） ○周産期死亡率 6.1（人口千対）（最新平成29年度） ○妊娠11週以下での妊娠の届出率 92.6% ○相談件数 1,104件	○妊婦面談実施割合：100% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 100% ○低出生体重児の割合：減少 ○周産期死亡率：減少 ○妊娠11週以下での妊娠の届出率：増加	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指し、妊娠届出時等の機会を活用し、妊婦全員に面談を行うなど、支援を必要とするかたへの相談体制の充実を図る。 妊娠・出産・育児の総合相談窓口として、相談内容に応じた適切な部署等へつなぐとともに、産科医療機関等の関係機関との連携を強化していく。				
乳児家庭全戸訪問（こんには赤ちゃん）事業	○乳児家庭全戸訪問の生後4か月以内の実施 97.1% ○EPDS9点以上の母の割合 10.8%	○乳児家庭全戸訪問実施率 100% ○産後うつハイリスク者の減少	妊娠期からの事業周知を図り、生後4か月以内の訪問実施率100%を目指す。妊娠期に支援プランを作成し、支援を継続中の家庭には出産後すみやかに訪問を実施する。 乳児家庭全戸訪問時に、全数に産後うつ病を早期に発見するための質問票の聴取を行い、必要なかたには関係課と連携し支援していく。				
相談訪問事業	専門的な支援が必要とされている親への支援割合（乳幼児健診で、発達・育児・育児の支援等で経過観察が必要とされた親子への相談割合）100%☆	100%☆	医師・心理士・作業療法士・保健師・栄養士による個別相談や訪問指導を行い、安全に安心して育児ができるように、子どもの行動等に伴う親の育てにくさや、心配ごと、困りに寄り添う支援を目指す。				

(2) 乳幼児健康診査・保健指導等の充実

① 乳幼児健康診査の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳幼児健康診査	①健診の受診率 94.5%☆ ②健診診察医の小児科標榜医の割合 88.5%☆ ③要受診者等の医療機関等への受診率 75.1%☆ ④育児に自信がもてないことがよくある親の割合 7.6%☆ ⑤ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合 85.2%☆ ⑥育児の悩みに対して相談や協力を得られる人の割合 99.2%☆	①96.0%☆ ②増加☆ ③80.0%☆ ④減少☆ ⑤増加☆ ⑥増加☆	転入者のチェックを毎月2回実施し、健診案内通知のものが無いよう努めるとともに、医師会の協力を得ながら受診しやすい体制づくりを検討する。 「要受診」と判定されたかたへ、電話や手紙で受診勧奨を行い、未受診の場合その理由を聞き取り対策の検討を行う。 健診の場面を活かし、閉じこもりや孤立感が高い親子には、相談窓口や他の親子と交流できる場の情報提供を行う。生活背景や養育状況の聞き取りを行い、必要時地区担当保健師に引き継ぎ、継続支援につなげる。				

② 集団指導の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
母子健康教育事業	①両親学級の参加率☆ 妊婦 50.0% 配偶者等 44.8% ②3歳6か月児健診のう歯罹患率 14.9%☆ ③親が子どもの歯の仕上げ磨きを毎日している割合 91.4%☆ ④事故防止対策を実施している家庭の割合 64.5%☆	①ハローベビー教室（旧両親学級）または医療機関等開催の両親学級への参加率 80.0%☆ ②10.0%☆ ③増加☆ ④増加☆	ハローベビー教室の周知および参加率向上に努め、産後の子育てを家族で協力してできるようきっかけづくりを行っていく。 幼児健診等の機会と、歯や口に関する健康教育とブラッシング指導を行い、う歯予防の教育機会を充実させる。また、年2回地域の歯磨き指導と無料フッ化物塗布を実施する。 健診の場面を生かし、引き続きリーフレット等にて発達段階に合わせた事故予防の啓発を行う。母子健康教育などで事故予防の講話を行う。				

乳幼児健康診査 (再掲)	①健診の受診率 94.5%☆ ②健診診察医の小児科標榜医の割合 88.5%☆ ③要受診者等の医療機関等への受診率 75.1%☆ ④育児に自信がもてないことがよくある親の割合 7.6%☆ ⑤ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合 85.2%☆ ⑥育児の悩みに対して相談や協力を得られる人の割合 99.2%☆	①96.0%☆ ②増加☆ ③80.0%☆ ④減少☆ ⑤増加☆ ⑥増加☆	転入者のチェックを毎月2回実施し、健診案内通知のもらえないよう努めるとともに、医師会の協力を得ながら受診しやすい体制づくりを検討する。 「要受診」と判定されたかたへ、電話や手紙で受診勧奨を行い、未受診の場合その理由を聞き取り対策の検討を行う。 健診の場面を活かし、閉じこもりや孤立感が高い親子には、相談窓口や他の親子と交流できる場の情報提供を行う。生活背景や養育状況の聞き取りを行い、必要時地区担当保健師に引き継ぎ、継続支援につなげる。
-----------------	---	--	--

③ 個別相談の充実

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談訪問事業 (再掲)	専門的な支援が必要とされている親への支援割合(乳幼児健診で、発達・育児・育児の支援等で経過観察が必要とされた親子への相談割合) 100%☆	100%☆	医師・心理士・作業療法士・保健師・栄養士による個別相談や訪問指導を行い、安全に安心して育児ができるように、子どもの行動等に伴う親の育てにくさや、心配ごと、困りに寄り添う支援を目指す。				
地域の栄養相談	なし	相談した結果、非常に満足または満足と答えた利用者の割合 50% 家庭で実践しようと思ったと答えた利用者の割合 70%	個別の栄養相談及び栄養指導を行い、家庭における健康管理に資する。また、事業の積極的な周知を進め利用を促進していく。				

(3) 療育相談・指導の充実

① 早期発見体制の充実

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳幼児健康診査 (再掲)	①健診の受診率 94.5%☆ ②健診診察医の小児科標榜医の割合 88.5%☆ ③要受診者等の医療機関等への受診率 75.1%☆ ④育児に自信がもてないことがよくある親の割合 7.6%☆ ⑤ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合 85.2%☆ ⑥育児の悩みに対して相談や協力を得られる人の割合 99.2%☆	①96.0%☆ ②増加☆ ③80.0%☆ ④減少☆ ⑤増加☆ ⑥増加☆	転入者のチェックを毎月2回実施し、健診案内通知のもらえないよう努めるとともに、医師会の協力を得ながら受診しやすい体制づくりを検討する。 「要受診」と判定されたかたへ、電話や手紙で受診勧奨を行い、未受診の場合その理由を聞き取り対策の検討を行う。 健診の場面を活かし、閉じこもりや孤立感が高い親子には、相談窓口や他の親子と交流できる場の情報提供を行う。生活背景や養育状況の聞き取りを行い、必要時地区担当保健師に引き継ぎ、継続支援につなげる。				
相談訪問事業 (再掲)	専門的な支援が必要とされている親への支援割合(乳幼児健診で、発達・育児・育児の支援等で経過観察が必要とされた親子への相談割合) 100%☆	100%☆	医師・心理士・作業療法士・保健師・栄養士による個別相談や訪問指導を行い、安全に安心して育児ができるように、子どもの行動等に伴う親の育てにくさや、心配ごと、困りに寄り添う支援を目指す。				
地域コンサレーション (巡回相談) 事業	保育・幼稚園等を巡回し、集団生活上における児童の指導及び保育者へ助言を行う。59件実施。	現場のニーズに応えられるよう巡回指導員の質の向上と、保育・幼稚園等と連携をとり充実した支援を行っていく。	継続して同様に実施。				

資料

② 早期療育体制の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子ども発達支援センター事業	市内に居住する0歳～18歳までの児童の心身の発達に遅れ・心配等の相談、療育を行う。 定期指導回数 2,131 件	関係各課と連携し、療育の強化や保護者への支援を継続して行っていく。	継続して同様に実施。				
しいのみ学園運営事業	市内に居住する就学前の児童の生活基本動作の向上、機能訓練、知識の付与等を中心とするグループ活動を行う。 利用者 35 名 延利用数 2,168 件	関係各課と連携し、療育の強化や保護者への支援を継続して行っていく。	継続して同様に実施。				
児童発達支援事業	事業所数：10 箇所 ※しいのみ学園を除く	適切な対応を推進する	継続して取り組む				

（4）食育の推進

① 食育の推進

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳幼児の食育推進	①家族等で共食をする子どもの割合（1日2食以上）95.5%☆ ②朝食を欠食する子どもの割合 4.1%☆ ③離乳食教室の参加率 スタート教室 96.7% ステップアップ教室 96%	①増加☆ ②減少☆ ③継続し同様に実施	関係機関と連携しながら食体験の機会や食に関する情報提供を行い、子どもの成長発達に応じた取組を推進していく。				
食育に関する取組みの推進	食に関する全体計画完成	「食を通して子どもの生きる力を育む」及び地産地消の推進	継続・実践・推進				
食生活・生活リズム教育の推進	栄養教諭等と連携した授業の実施	継続して同様に実施	生活習慣の改善				

（5）思春期の保健対策

① 保健教育の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
性に関する指導の充実	全小・中学校で授業の実施	継続して同様に実施	正しい知識の定着				
喫煙、飲酒、薬物乱用の防止教育の推進	全小・中学校で授業の実施	継続して同様に実施	正しい知識の定着				

基本目標5 すべての家庭が安心して子育てできる支援体制づくり

（1）子育て不安解消体制の整備

① 相談体制の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子育て支援総合窓口	広報紙、HP、ツイッター、にこにこ子育て応援ガイドで情報提供。	地域子育て支援拠点や児童館等の市内の子育てに関する事業を中心にHPの更新やツイッターの発信をしていく。	継続して同様に実施。				
乳児家庭全戸訪問（こんちは赤ちゃん）事業（再掲）	○乳児家庭全戸訪問の生後4か月以内の実施 97.1% ○EPDS9点以上の母の割合 10.8%	○乳児家庭全戸訪問実施率 100% ○産後うつハイリスク者の減少	妊娠期からの事業周知を図り、生後4か月以内の訪問実施率100%を目指す。妊娠期等に支援プランを作成し、支援を継続中の家庭には出産後すみやかに訪問を実施する。 乳児家庭全戸訪問時に、全数に産後うつ病を早期に発見するための質問票の聴取を行い、必要な方には関係課と連携し支援していく。				

養育支援訪問事業	訪問実人数 17 人 訪問延人数 61 人	継続し同様に実施	乳幼児の養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対し、過重な負担がかかる前の段階で専門職などによる訪問を実施するべく、関係機関との連携を強化していく。
乳幼児子育て相談	全保育所で随時受付	子育て支援ステーション（ほほえみ）で同様に実施	子育て支援ステーション（ほほえみ）で同様に実施
地域子育て支援拠点事業	設置 9 か所 利用 24,467 組。 子育て相談を随時実施。	開催日数の増加や利用者支援事業である子育て支援ステーションとの連携により、利用者の増加を図っていく。	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載。
子育てサークル団体の育成、支援	子育て支援センターにて計 2 団体育成	子育て支援センターにて 4 団体育成。	子育て支援センターにて 4 団体育成。
児童館（育児情報の提供・交流）（再掲）	北児童館・南児童センター・早稲田児童センターで通年実施	継続して実施	児童厚生員による子育てサポート、育児に関する情報提供等を行う。
赤ちゃんひろば（北公民館・北児童館共催事業）（再掲）	開催回数:18 回 参加者数:延べ 485 人	継続して実施	保護者の仲間づくりや子育てのアドバイスの発信等につながるよう内容の充実を図る。
家庭児童相談室（再掲）	相談件数 1,450 件	相談のべ件数 1,500～1,600 件	相談が複数回にわたることや 1 件あたりの相談時間が長いため、件数値を指標にせず、各年度 1,500～1,600 件とする。
教育相談（再掲）	市内 3 か所の教育相談室における相談延べ件数 423 6 件	継続して同様に実施	事業の充実を図る
相談訪問事業（再掲）	専門的な支援が必要とされている親への支援割合（乳幼児健診で、発達・発育・育児の支援等で経過観察が必要とされた親子への相談割合）100%☆	100%☆	医師・心理士・作業療法士・保健師・栄養士による個別相談や訪問指導を行い、安全に安心して育児ができるように、子どもの行動等に伴う親の育てにくさや、心配ごと、困りに寄り添う支援を目指す。
女性相談	75 件、相談枠数 140（35 日）	相談枠数 132 枠（33 日）以上	継続して同様に実施
利用者支援事業（子育て支援ステーション事業）（再掲）	○妊婦面談実施割合 36.2% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 93.0% ○全出生数に占める低出生体重児の割合（2,500g 未満）9.9%（最新平成 29 年度） ○周産期死亡率 6.1（人口千対）（最新平成 29 年度） ○妊娠 11 週以下での妊娠の届出率 92.6% ○相談件数 1,104 件	○妊婦面談実施割合：100% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 100% ○低出生体重児の割合：減少 ○周産期死亡率：減少 ○妊娠 11 週以下での妊娠の届出率：増加	妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指し、妊娠届出時等の機会を活用し、妊婦全員に面談を行うなど、支援を必要とするかたへの相談体制の充実を図る。 妊娠・出産・育児の総合相談窓口として、相談内容に応じた適切な部署等へつなぐとともに、産科医療機関等の関係機関との連携を強化していく。
外国人への通訳・情報提供	通訳件数 486 件 翻訳件数 45 件 英語版情報誌 4 回発行	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施

② 情報提供体制の充実

事業名	現状値（30 年度）	指標/目標	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
子育て応援ガイド「にこにこ」の発行	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行				

児童館だより (再掲)	[北児童館] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 月 1 回発行し、近隣小学校などへ配布依頼	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
たからじまだより (再掲)	年6回、1回につき700部発行	継続して同様に実施	一部カラーを配布し、見やすさなど質の向上と共に内容の充実を図る
男女共同参画 情報紙	広報みさと発行にあわせて全戸配布。印刷部数55,000部	年に1回発行	継続して同様に実施

③ 保護者交流の機会の提供

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
保育所園庭開放の推進	全保育所で随時受付	継続して同様に実施	同様に実施				
保護者対象事業	[南児童センター] 9回開催、87人参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
	[早稲田児童センター] 4回開催、51人参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施				
地域子育て支援拠点事業 (再掲)	設置9か所 利用24,467組。 子育て相談を随時実施。	開催日数の増加や利用者支援事業である子育て支援ステーションとの連携により、利用者の増加を図っていく。	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載。				
赤ちゃんひろば(北公民館・北児童館共催事業) (再掲)	[生涯学習課] 開催回数:18回 参加者数:延べ485人	継続して実施	保護者の仲間づくりや子育てのアドバイスの発信等につながるよう内容の充実を図る。				

(2) 多様な保育サービスの充実

① 待機児童の解消

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
通常保育	保育所定員 ・公立 595名 ・私立 1,390名 合計 1,985名	待機児童の解消	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				
地域型保育事業の推進	6か所	待機児童の解消	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				
認定こども園の推進	3か所	待機児童の解消	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				

② 保育サービスの充実

事業名	現状値(30年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延長保育の推進	延長保育実施保育所(園): 21か所	運営支援の実施	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				
休日保育の実施	未実施	検討	実施の検討				
統合保育の推進	全保育所で随時受け入れ	継続して同様に実施	同様に実施				
送迎保育の実施	延利用者数 12,403人	継続して同様に実施	同様に実施				
(仮称)保育アドバイザーの配置(研修支援等)	未実施	検討	実施の検討				

③ 施設における子育て支援

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一時保育の推進	4か所 利用者数 4,590人	継続して同様に実施	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				
病児・病後児保育の実施	1か所 利用者数 278人 登録者数 709人	2か所	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				

④ 地域における子育て支援

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	提供会員 213人 依頼会員 1,322人 両方会員 64人 活動回数 4,320件	提供会員 250人	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載。				

(3) 放課後児童対策の充実

① 放課後児童クラブの整備

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
放課後児童クラブ運営の充実（再掲）	児童クラブで延べ利用 児童数 11,437人	待機児童の解消	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載				

② 放課後子ども教室の整備

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
放課後子ども教室推進事業（再掲）	4か所 登録人数：160名	継続して実施	小学校内（2校）への新設を目指す。				

③ 放課後等デイサービス等の整備

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
障がい児への支援（障害福祉サービス給付事業）（再掲）	（児童発達支援） 実人数：100人 （放課後等デイサービス） 実人数：250人	適切な対応を推進する	継続して取り組む				

(4) 経済的支援の充実

① 経済的支援の充実

事業名	現状値（30年度）	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
母子及び父子・寡婦福祉資金貸付相談	相談 2件 受付 3件	埼玉県東部福祉事務所で受付をしているため、制度の周知に努め、適切な対応を推進していく。	今後も継続して取り組んでいく。				
母子生活支援施設入所相談	相談 10件 入所 2件	相談を通じて、適切な対応を推進していく。	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。				
三郷市国民健康保険出産育児一時金の支給	支給件数：116件	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。				
三郷市国民健康保険出産費資金の貸付	支給件数：0件	適切な対応に努める	医療機関への直接支払制度導入にともない、貸付件数は減少している。状況を踏まえ、必要な方に対し適切な対応に努める。				
こども医療費支給事業	支給対象者 19,190人 延べ支給者数 314,757人	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。				
ひとり親家庭等医療費支給事業	支給対象者 1,112人 延べ支給者数 9,447人	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。				
児童手当支給事業	支給対象者 11,411人 延べ支給者数 214,586人	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。				

資料

児童扶養手当支給事業	支給対象者 986 人 延べ支給者数 12,382 人	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。
未熟児養育医療費支給事業	支給対象者 54 人	適切な対応の推進	状況を踏まえ、適切な対応を推進していく。
三郷市在宅心身障害児一時介護委託料助成事業	実人数：159 人 計：1,796 件 5,692,820 円	適切な対応を推進する	継続して取り組む
障害児福祉手当	支給対象者：44 人 延べ支給者：517 人	適切な対応を推進する	継続して取り組む
特別児童扶養手当（国の制度）	支給対象者：288 人 延べ支給者数：838 人	適切な対応を推進する	継続して取り組む
自立支援医療費（育成医療）	給付件数：107 人 （補装具 1 人） 給付金額：2,833,436 円 （補装具：30,025 円）	適切な対応を推進する	継続して取り組む
難聴児補聴器購入費助成事業	申請件数：1 人（2 台） 助成金額：61,200 円	適切な対応を推進する	継続して取り組む
小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業	申請件数：10 件 給付金額：568,974 円	適切な対応を推進する	継続して取り組む

（5）子育てに優しいまちづくりの推進（バリアフリーを含む）

① バリアフリー化の推進

事業名	現状値（30 年度）	指標/目標	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
ノンステップバスの導入促進	東武バス(株)1 台	継続して同様に実施	バス事業者の購入計画により、補助金を確保する。				
水路改修事業（再掲）	960m	1.5 km	0.3 km	0.3 km	0.3 km	0.3 km	0.3 km
歩道整備事業（再掲）	157.6m	0.5 km	0.1 km	0.1 km	0.1 km	0.1 km	0.1 km
公園施設のバリアフリー化（再掲）	公園施設のバリアフリー化 44 箇所	既存施設のバリアフリー化、新規施設へのユニバーサルデザインの導入	既存施設のバリアフリー化、新規施設へのユニバーサルデザインの導入				

② 子育て家族が安心して外出できる環境づくり

事業名	現状値（30 年度）	指標/目標	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
赤ちゃんの駅	市内施設等 43 ヶ所。	適切な対応の推進。	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				

基本目標6 男女が協力する子育て社会の実現

（1）男女がともに支え合う仕組み作り

① 男性の子育て参加の契機づくり

事業名	現状値（30 年度）	指標/目標	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
母子健康教育事業（再掲）	①両親学級の参加率☆ 妊婦 50.0% 配偶者等 44.8% ②3歳6か月児健診のう歯罹患率 14.9%☆ ③親が子どもの歯の仕上げ磨きを毎日している割合 91.4%☆ ④事故防止対策を実施している家庭の割合 64.5%☆	①ハローベビー教室（旧両親学級）または医療機関等開催の両親学級への参加率 80.0%☆ ②10.0%☆ ③増加☆ ④増加☆	ハローベビー教室の周知および参加率向上に努め、産後の子育てを家族で協力してできるようきっかけづくりを行っていく。 幼児健診等の機会、歯や口に関する健康教育とブラッシング指導を行い、う歯予防の教育機会を充実させる。また、年2回地域の歯磨き指導と無料フッ化物塗布を実施する。 健診の場面を生かし、引き続きリーフレット等にて発達段階に合わせた事故予防の啓発を行う。母子健康教育などで事故予防の講話を行う。				

父親の子育て参加の促進	年に1回子ども支援課主催の親子講座を土曜日に開催。ほか児童館等で父親参加事業開催。	継続して同様に実施。	継続して同様に実施。
親子対象事業 (再掲)	[北児童館] 164回 開催 延 1,928人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[南児童センター] 240回 開催 延 6,076人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[早稲田児童センター] 726回 開催 延 9,307人 参加	継続して実施	内容の充実を図りながら継続して実施
	[東和東地区文化センター] 子育てママのリフレッシュ 体操：38人 親子体操：44人 つどいの広場「子育て支援事業」延べ 6,848人 みんな☆おいでよ： 延べ 91人 お話し広場延べ 3,630人	継続して同様に実施	回数を確保しつつ、事業内容を見直す。 参加者数については現状維持を確保
	[彦成地区文化センター] ⑨ 親子料理教室 延べ 18人 ⑩ にこにこひろば 延べ 329人 ⑪ えほんのひろば 延べ 124人 ⑫ 親子リズム遊び 延べ 68人 ⑤つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 499人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施。 親子のふれあいの場となる事業の実施に努める。
	[高州地区文化センター] つどいの広場「子育て支援事業」 延べ 667人	継続して同様に実施	親子が触れ合うことができる事業の実施に努める。 子育て支援事業は、つどいの広場開催時に実施していく。 参加者数は現状維持を確保。
	[鷹野文化センター] ファミリーコンサート 開催回数：1回 参加人数：184人 子ども英会話 年間を通して開催 参加人数：延べ 76組 みんなおいでよ 開催回数：2回 参加人数：72人	継続して同様に実施	内容を検討し、継続して実施
	[ピアラシティ交流センター] ボタジェ体験 開催回数 11回 参加組数 200組	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保

	[三郷中央におどりプラザ] 令和元年度に実施 親子体験WS等 開催回数 概ね 8 回 参加組数 概ね 200 名	継続して同様に実施	開催回数参加者組数とも現状水準を確保
	[市立図書館] 親子おはなし会 開催回数: 22 回 参加人数: 延べ 528 人	継続して実施	継続して同様に実施
	[早稲田図書館] 親子おはなし会 開催回数: 12 回 参加人数: 延べ 119 人	継続して同様に実施	継続して同様に実施
	[北部図書館] ちいさいこえほんタイム 開催回数: 12 回 参加人数: 延べ 206 人	継続して同様に実施	継続して同様に実施

② 相談体制の充実

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
利用者支援事業（子育て支援ステーション事業） （再掲）	○妊婦面談実施割合 36.2% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 93.0% ○全出生数に占める低出生体重児の割合（2,500g 未満）9.9%（最新平成 29 年度） ○周産期死亡率 6.1（人口千対）（最新平成 29 年度） ○妊娠 11 週以下での妊娠の届出率 92.6% ○相談件数 1,104 件	○妊婦面談実施割合：100% ○支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率 100% ○低出生体重児の割合：減少 ○周産期死亡率：減少 ○妊娠 11 週以下での妊娠の届出率：増加	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指し、妊娠届出時等の機会を活用し、妊婦全員に面談を行うなど、支援を必要とするかたへの相談体制の充実を図る。 妊娠・出産・育児の総合相談窓口として、相談内容に応じた適切な部署等へつなぐとともに、産科医療機関等の関係機関との連携を強化していく。				
子育て支援総合窓口 （再掲）	広報紙、HP、ツイッター、にこにこ子育て応援ガイドで情報提供。	地域子育て支援拠点や児童館等の市内の子育てに関する事業を中心に HP の更新やツイッターの発信をしていく。	継続して同様に実施。				
女性相談 （再掲）	75 件、相談枠数 140（35 日）	相談枠数 132 枠（33 日）以上	継続して同様に実施				

③ 啓発活動の推進

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
男女共同参画情報紙 （再掲）	広報みさと発行にあわせて全戸配布。印刷部数 55,000 部	年に 1 回発行	継続して同様に実施				
男女共同参画情報コーナー	令和元年度に三郷中央におどりプラザ内に設置	図書の貸出し数 月 5 冊以上	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
子育て応援ガイド「にこにこ」の発行 （再掲）	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行	民間事業者と協働製作で 11,000 部発行				

(2) 子育てと仕事の両立のための仕組み作り

① ワーク・ライフ・バランスの推進

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業) (再掲)	提供会員 213 人 依頼会員 1,322 人 両方会員 64 人 活動回数 4,320 件	提供会員 250 人	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載。				
ワーク・ライフ・バランスの啓発	ワーク・ライフ・バランスに関するリーフレット等の設置	継続して同様緒に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
育児休業・介護休業制度の普及の啓発	男女雇用機会均等法、育児休業制度、介護休業制度等についてのリーフレットを設置	継続して同様緒に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
優良企業等のPRの実施	すべての人に働きやすい職場ふくりに取り組んでいる企業・事業所を情報紙等でPR	継続して同様緒に実施	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
企業担当者向け啓発活動	企業担当者に向けて、啓発資料の配布・説明等の活動を実施 企業訪問 24 社	20 社以上	状況を踏まえ、適切な対応を推進する。				
労働等に関する相談事業	24 回開設、相談件数 16 件 (相談枠数 72 枠)	年 24 回開設 (相談枠数 72)	継続して同様に実施				

基本目標 7 地域共生のまちづくりの推進

(1) 地域支援協力体制の確立

① 地域支援協力体制の確立

事業名	現状値 (30 年度)	指標/目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子育て自主企画応援事業	市内の子育て支援 NPO 法人が主催する子育てフェスタを後援。	継続して同様に実施。	継続して同様に実施。				
子育て応援団体の育成	民生委員・児童委員と児童館・地域子育て支援拠点との協働事業を開催。	継続して同様に実施。	継続して同様に実施。				
防犯のまちづくりの推進 (再掲)	自主防犯活動団体数 116 防犯ステーション数 5 青色防犯パトロール車数 84	自主防犯活動団体数 127 防犯ステーション数 6 青色防犯パトロール車数 100	活動団体数、ステーション数、パトロール車数の増加を図る。				
子ども 110 番の家 (再掲)	設置数 994 件	設置数 1,000 件	設置数の増加を図る。				
子ども見守り活動 (再掲)	見守りボランティア協力者数 17,708 人	現状維持に努める。	現在のボランティア協力者に引き続き活動をお願いしていく。				
青少年関係団体補助事業等 (再掲)	6 団体に補助金を交付	実態に即して実施	青少年の健全育成を行う団体に補助を行う。				
「子どもの居場所」づくりセミナー (再掲)	未実施	新規で実施	講演会や交流会等を柱として実施				
保育所・幼稚園・認定こども園・小学校との連携 (再掲)	幼稚園協会との連携会議の開催	子育て支援ネットワークの形成	関係機関との連携を強化していく。				

資料

地域子育て支援拠点事業 (再掲)	設置 9 か所 利用 24,467 組。 子育て相談を随時実施。	開催日数の増加や利用者支援事業である子育て支援ステーションとの連携により、利用者の増加を図っていく。	「第5章 子ども・子育て支援事業の展開」に記載。
子育てサークル団体の育成、支援 (再掲)	子育て支援センターにて 計 2 団体育成	子育て支援センターにて 4 団体育成。	子育て支援センターにて 4 団体育成。

2 三郷市母子保健計画

目標Ⅰ 充実した妊娠期を過ごし、安心して出産ができる

評価指標		H30 年度 現状値	R6 年度 最終目標値
1	妊娠届出時等に面談を実施している割合	36.2%	100%
2	支援を必要とする妊婦の家庭訪問・相談の実施率	93.0%	100%
3	ハローベビー教室（旧両親学級）または医療機関等開催の両親学級への参加率	未把握（今後調査） 参考値 *旧両親学級参加率 妊婦 50.0% 配偶者等 44.8%	80.0%
4	全出生数に占める低出生体重児の割合（2500g未満）	9.9% （H29年度埼玉県 人口動態統計年報）	減少
5	妊娠中の喫煙率	3.8%	0%
参考 6	妊娠 11 週以下での妊娠の届出率	92.6%	増加
参考 7	周産期死亡率	6.1（人口千対） （H29 年度人口動態統計）	減少

目標Ⅱ 乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけ、将来の健康なからだをつくる

評価指標		H30 年度 現状値	R6 年度 最終目標値
1	健診診察医の小児科標榜医の割合	4 健診合計 88.5% (4 か月児健診 100% 9 か月児健診 100% 1 歳 8 か月児健診 75.0% 3 歳 6 か月児健診 79.2%)	増加
2	健診の受診率	4 健診合計 94.5% (4 か月児健診 97.7% 9 か月児健診 94.7% 1 歳 8 か月児健診 94.4% 3 歳 6 か月児健診 91.4%)	96.0%
3	要受診者等の医療機関等への受診率	4 健診合計 75.1% (4 か月児健診 90.2% 9 か月児健診 96.6% 1 歳 8 か月児健診 92.9% 3 歳 6 か月児健診 63.6%)	80.0%
4	専門的な支援が必要とされている親への支援割合（乳幼児健診で、発育・発達・育児の支援等で経過観察が必要とされた親子への相談割合）	100%	100%
5	親が子どもの歯の仕上げ磨きを毎日している割合	2 健診合計 91.4% (1 歳 8 か月児健診 88.0% 3 歳 6 か月児健診 94.8%)	増加
6	3 歳 6 か月児健診でのう歯罹患率	14.9%	10.0%

7	家族等で共食をする子の割合 (1日2食以上)	2 健診合計 95.5% (1 歳 8 か月児健診 94.3% 3 歳 6 か月児健診 96.6%)	増加
8	朝食を欠食する子どもの割合	4.1%	減少
参考 9	麻疹・風疹：1 歳 6 か月までの接種割合	95.2%	現状維持
参考 10	四種混合：1 歳 6 か月までの接種割合 (1 期初回 3 回の終了)	100.7%	現状維持
参考 11	BCG：1 歳未満での接種割合	100.8%	現状維持

目標Ⅲ 親が、安全に安心して育児をすることができる

評価指標		H30 年度 現状値	R6 年度 最終目標値
1	居住実態を把握できた乳幼児の割合	100%	100%
2	乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合	98.0%	100%
3	#8000 を知っている親の割合	87.6%	90.0%
4	生後4か月までに乳児家庭全戸訪問を実施した割合	97.1%	100%
5	育児期間中の両親の喫煙率	<父> 3 健診合計 35.5% 4 か月児健診 35.5% 1 歳 8 か月児健診 35.5% 3 歳 6 か月児健診 35.4%	<父> 30.0%
		<母> 3 健診合計 6.8% 4 か月児健診 4.1% 1 歳 8 か月児健診 6.9% 3 歳 6 か月児健診 9.2%	<母> 6.0%
6	事故防止対策を実施している家庭の割合 （安全対策として、浴室内での事故を防ぐための工夫をしている家庭の割合）	64.5% (1 歳 8 か月児健診)	増加
7	育児をしている父親の割合	3 健診合計 54.9% 4 か月児健診 60.3% 1 歳 8 か月児健診 54.6% 3 歳 6 か月児健診 50.1%	60.0%

8	育児に自信がもてないことがよくある親の割合	2 健診合計 7.6% (4 か月児健診 6.4% 9 か月児健診 8.8%)	減少
9	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合	4 健診合計 85.2% (4 か月児健診 88.8% 9 か月児健診 88.3% 1 歳 8 か月児健診 85.1% 3 歳 6 か月児健診 78.8%)	増加
10	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	3 健診合計 91.6% (4 か月児健診 90.0% 1 歳 8 か月児健診 91.6% 3 歳 6 か月児健診 93.0%)	95.0%
参考 11	育児の悩みに対して相談や協力を得られる人の割合	4 健診合計 99.2% (4 か月児健診 98.9% 9 か月児健診 99.3% 1 歳 8 か月児健診 99.2% 3 歳 6 か月児健診 99.3%)	増加
参考 12	EPDS9 点以上の母の割合	10.8%	減少

3 三郷市子ども・子育て会議条例

○三郷市子ども・子育て会議条例

平成25年6月17日

条例第19号

改正 平成25年12月16日条例第30号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項の規定に基づき、三郷市子ども・子育て会議（以下「子ども・子育て会議」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 子ども・子育て会議は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査審議する。

(1) 法第77条第1項各号に規定する事務に関する事項

(2) 前号に掲げるもののほか、本市の子ども・子育て支援施策に関し、市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 子どもの保護者

(2) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者

(3) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者

(4) 公募による市民

(5) その他市長が必要と認める者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることを妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、子ども・子育て会議を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、子ども・子育て会議の会議（以下「会議」という。）を招集し、議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 子ども・子育て会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 子ども・子育て会議の庶務は、子ども未来部子ども政策室において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子ども・子育て会議に諮って定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
（特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）
- 2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和48年条例第2号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（平成25年12月16日条例第30号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

4 三郷市子ども・子育て会議委員名簿

第4期 三郷市子ども・子育て会議委員名簿

(任期 令和元年8月1日～令和3年7月31日)

(敬称略)

番号	条例3条2項 該当号	推 薦 母 体 等	委 員 名	備 考
1	第1号	三郷市立保育所保護者	高橋 絵梨	
2	第1号	三郷市私立幼稚園父母会	伊藤 恵	
3	第1号	三郷市PTA連合会	瀬上 玲子	
4	第2号	三郷市私立幼稚園協会	中川 進	
5	第2号	三郷市私立保育園協会	大森 聡一	
6	第3号	三郷市医師会	杉浦 正俊	
7	第3号	三郷市民生委員・児童委員協議会	和井田 美和	
8	第3号	三郷市母子愛育会	荒井 英理子	
9	第3号	学識経験者	岡田 耕一	会長
10	第3号	学識経験者	篠宮 尚	副会長
11	第3号	学識経験者	佐々木 六男	
12	第3号	学識経験者	小林 照男	
13	第2号	事業従事者	美田 智幸	
14	第4号	公募による市民	神谷 真優美	
15	第4号	公募による市民	横内 浩一	

5 三郷市児童育成行動計画行政推進協議会規程（抜粋）

三郷市児童育成行動計画行政推進協議会規程

（設置）

第1条 次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）に基づき、三郷市児童育成行動計画を策定し、実施することに関し、関連各課との連絡調整を図り、子育て支援の総合的かつ効果的な施策を推進するため、三郷市児童育成行動計画行政推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議検討する。

- （1） 三郷市児童育成計画を踏まえた三郷市児童育成行動計画の策定に関すること。
- （2） 三郷市児童育成行動計画の推進に関すること。
- （3） 三郷市児童育成行動計画の事後評価及び見直しに関すること。
- （4） その他児童育成に関すること。

（組織）

第3条 協議会は、次に掲げる職にある者をもって組織する。

- （1） 人権・男女共同参画課長
- （2） 市民活動支援課長
- （3） 生活安全課長
- （4） クリーンライフ課長
- （5） スポーツ振興課長
- （6） 健康推進課長
- （7） 国保年金課長
- （8） ふくし総合支援課長
- （9） 障がい福祉課長
- （10） 子ども政策室長
- （11） 子ども支援課長
- （12） すこやか課長
- （13） 道路河川課長
- （14） 都市デザイン課長
- （15） みどり公園課長
- （16） 教育総務課長
- （17） 学務課長
- （18） 指導課長
- （19） 生涯学習課長
- （20） 青少年課長
- （21） 日本一の読書のまち推進課長
- （22） 前各号に定める者のほか、市長が指名する者

（会長及び副会長）

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長は、子ども政策室長とし、副会長は、委員の中から会長が指名する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議等）

第5条 会長は、会議を招集し、会議の議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、関係職員の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（作業部会）

第6条 協議会の所掌事項に関し、資料作成等の作業を行うため、児童育成行動計画作業部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

- 2 部会は、会長が任命した者をもって組織する。
- 3 部会に部会長及び副部会長を置く。
- 4 部会長及び副部会長は、部会員の互選により選出する。
- 5 部会長は、部会を代表し、部会の事務を総理し、副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 6 部会の会議は会長が招集し、部会長は会議の議長となる。
- 7 部会長は、部会で作業した内容を、速やかに会長に報告しなければならない。

（庶務）

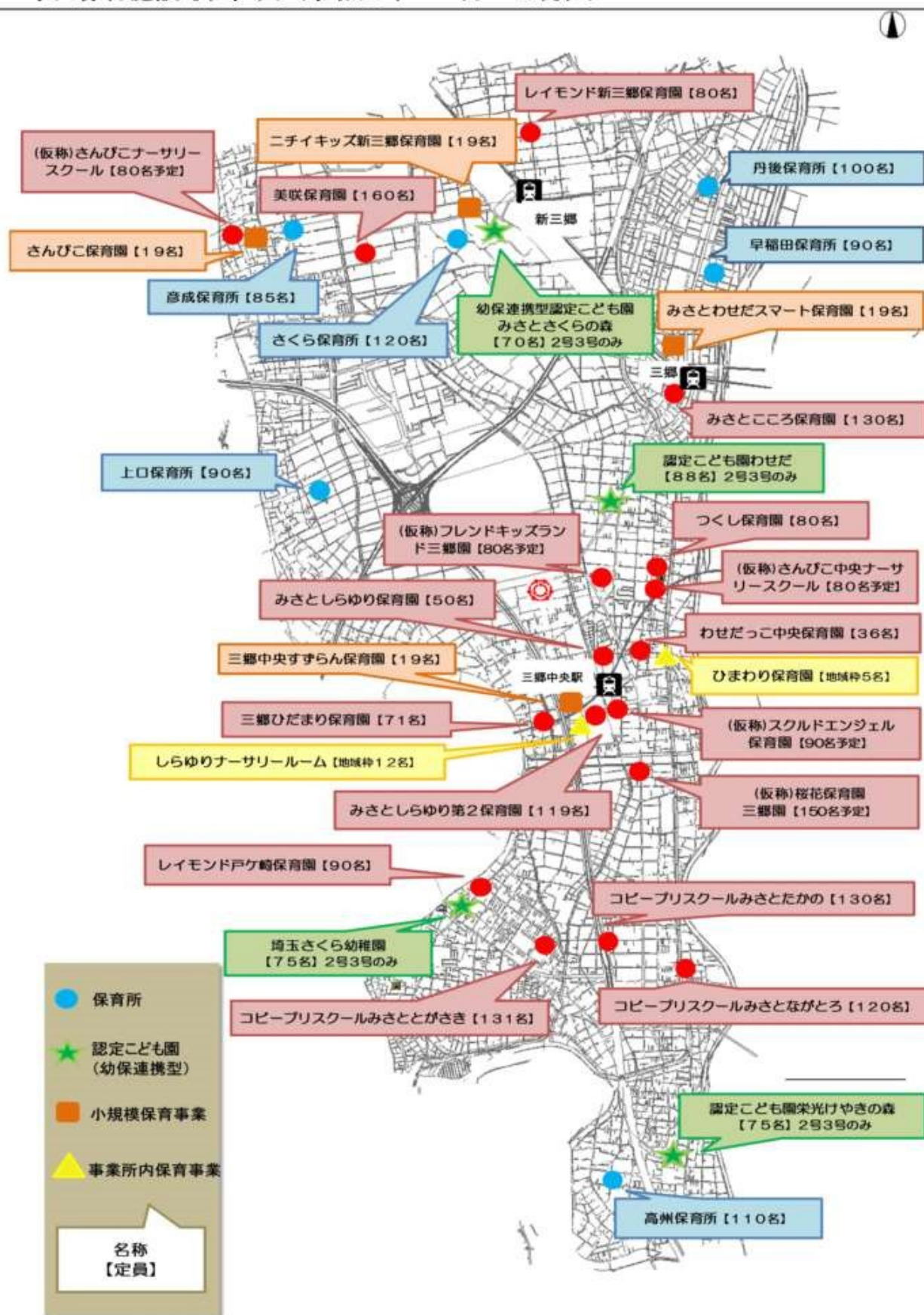
第7条 協議会の庶務は、子ども未来部子ども政策室において処理する。

（委任）

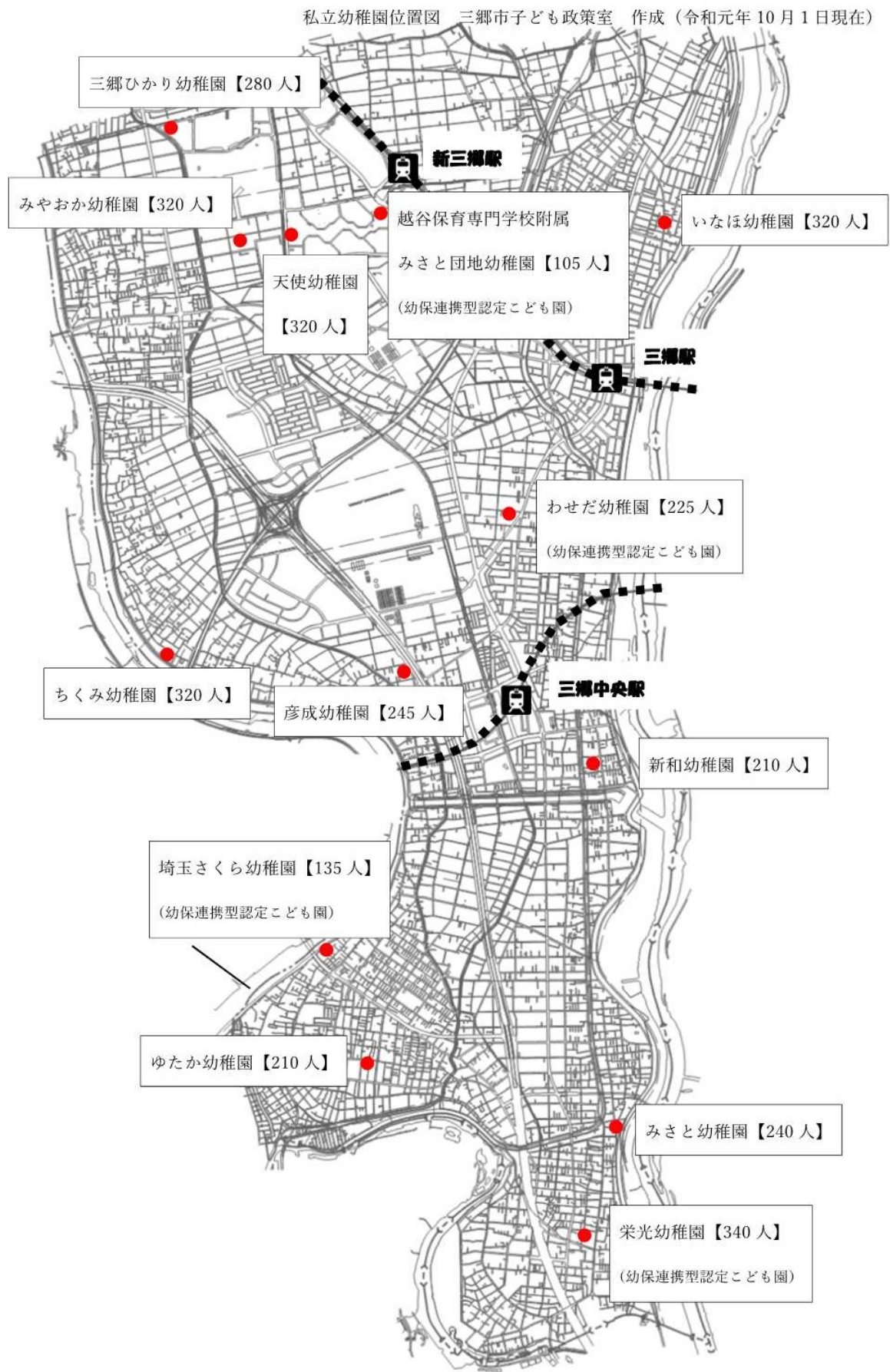
第8条 この規程に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

6 市内保育施設等位置図

市内保育施設等位置図（令和元年10月1日現在）



7 市内私立幼稚園位置図



8 「子どもの居場所」マップ

三郷市子ども政策室 作成（令和2年1月10日現在） 電話：048-930-7816

「子どもの居場所」マップ

市ホームページ
(作りたい人へ) (寄付したい人へ)

なまえ：クローバー子どもカフェ
 運営者：NPO 法人ささえあいの会
 みさとクローバー
 いつ：毎月第1土曜日
 11:30～13:00
 どこで：みさと団地
 「四丁目のクローバー」
 料金：小学生100円/大人300円
 (親子2人の時300円)
だれでも(大人だけでも)利用可。
 電話：048-950-8208
 その他：アレルギー対応はしていません。
 申込み不要。
 無くなり次第終了。

なまえ：みんなで作って、食べよう!
 運営者：NPO 法人 NIKO ねっと
 いつ：令和元年 8/31(土)、10/26(土)、
 11/14(木)、12/14(土)、1/18(土)
 いずれも 9:30～14:00
 令和2年度は6月から月1回予定
 どこで：みさと団地南集会所
 料金：18歳以下無料/19歳以上300円
原則、小学生以上の子どもを対象
(保護者の方も参加できます)
 電話：048-959-5003
 その他：アレルギー対応はしていません。
参加申込みが必要です。
 持ち物：エプロン、タオル

なまえ：放課後あそび広場
 運営者：NPO 法人 NIKO ねっと
 いつ：毎週月、金曜日 15:00～17:00
 (10～3月は、15:00～16:30)
 どこで：みさと団地南集会所
 料金：無料
小学生以上の子どもを
対象としています。
 電話：048-959-5003

なまえ：ふれあい子ども食堂
 運営者：出会いふれあいオリーブの会
 いつ：毎週日曜日 11:00～14:00
 (ランチタイムは11:30～13:00)
 どこで：早稲田3-26-19
 料金：子ども100円/保護者100円
大人のみの利用はできません。
 連絡先：080-6651-5386(香取順子)
 その他：アレルギー対応はしていません。

なまえ：みさときッズ食堂
 運営者：このゆびとーまれ♪
 いつ：毎週日曜日 11:30～14:00
 どこで：三郷2-2-2(穴戸歯科2F)
 料金：子ども無料/大人300円
だれでも(大人だけでも)利用可。
 電話：090-2536-9469(仲野いつみ)
 メール：misatokids@gmail.com
 その他：アレルギー対応はしていません。
 託児はできません。
 不定期でワークショップ開催。
   @misatokids

なまえ：ほっとママ(親子サロン)
 運営者：ほっとすべーすのびのび
 いつ：毎週火、水曜日 10:00～12:00
 毎週木 10:00～15:00
 どこで：火：ピアラシティ交流センター
 水：東和東地区センター
 木：高州地区文化センター
 料金：無料
親子を対象としています。
 電話：090-4715-3615(竹内)
teruteru_akkomyahoo.co.jp
 その他：高州地区文化センター(木曜)では、
 ランチ会もやっています。
 (親子で500円)
アレルギー対応はしていません。
  @space.nobinobi

なまえ：おあしす子ども食堂
 運営者：NPO 法人三郷おあしす会
 いつ：毎月第4土曜日 11:30～14:00
 (注文終了は13:00)
 どこで：鷹野4-494-1(みさと健和病院内)
 料金：中学生までは無料/大人300円
だれでも(大人だけでも)利用可。
 電話：048-956-0065
 その他：アレルギー対応はしていません。
 小学生は保護者の承諾が必要。

子ども食堂または食を通じた子どもの居場所
 その他

第2次みさとこどもにこにこプラン

令和2年 3月

発行 三郷市子ども未来部子ども政策室

〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1

☎ 048-953-1111（代表） 048-930-7816（直通）

FAX 048-953-7093

URL <https://www.city.misato.lg.jp/>